

広域的地域活性化基盤整備計画 事後評価書

とうもろ こういき かんせん どうろ えんせん ちいき
東毛広域幹線道路沿線地域

ぐんま
群馬県

たかさき たまむらまち いせさき おおたし おおいずみまち ちよだまち おうらまち たてばやし まえばし
関係市町村(高崎市、玉村町、伊勢崎市、太田市、大泉町、千代田町、邑楽町、館林市、前橋市)

平成26年10月

拠点施設

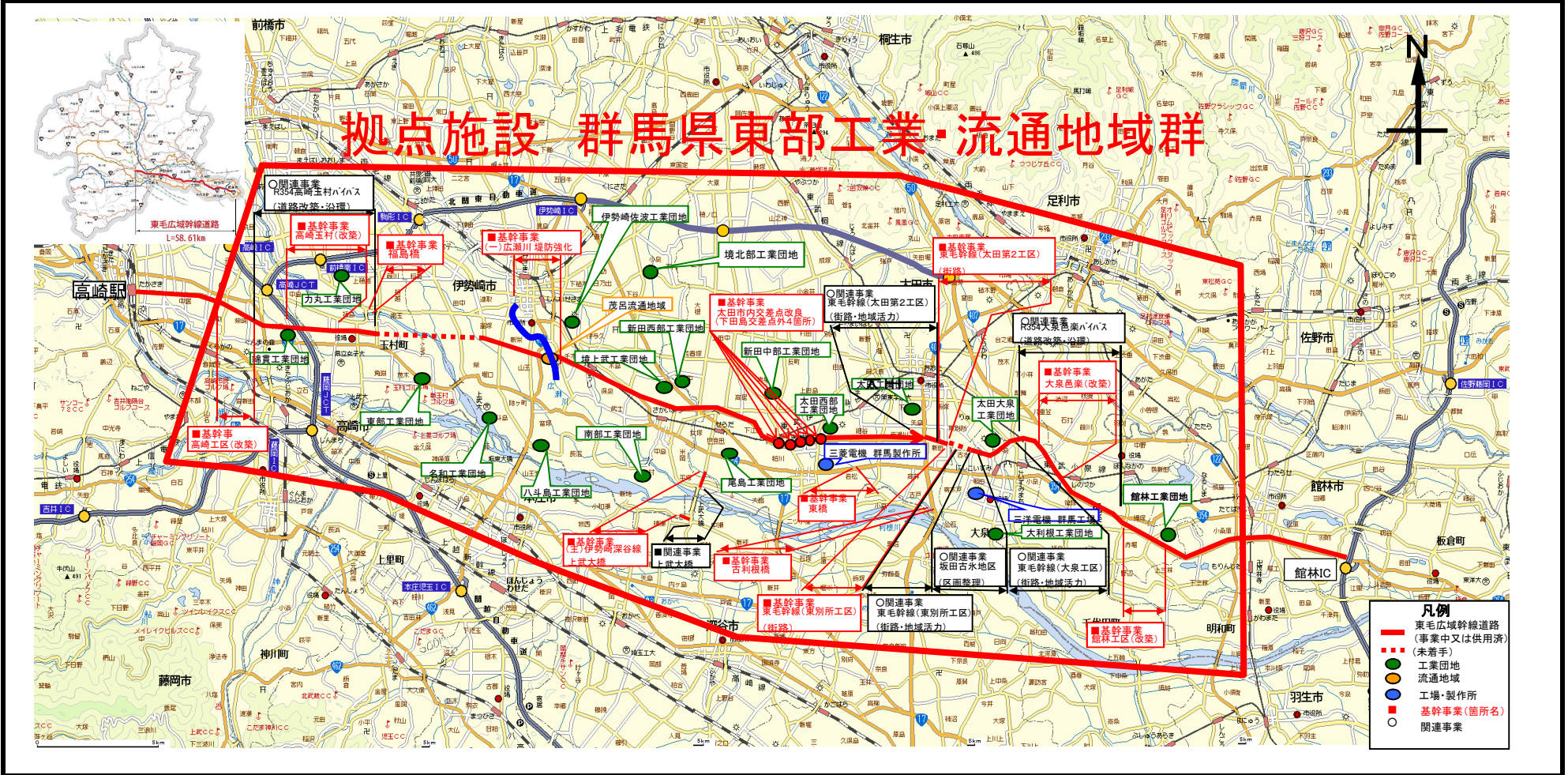
施設名	・群馬県東部工業・流通地域群	所在地	群馬県高崎市、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、大泉町、前橋市
設置主体	公共・民間	管理・運営主体	民間
設置(予定)年月	茂呂流通地域以外は既設(茂呂流通地域は平成23年度概成予定)	拠点施設の区分	工業団地等
広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の工場製品の製造に関する事業活動	拠点施設の整備の有無	有 ・ 無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <p>・群馬県東部には多数の工業団地が存在しており、「自動車などの輸送機器」を中心に「食料品」、「機械製品」、「金属製品」など多種多様な製品を生産している。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <p>・拠点施設からの製品出荷先は群馬県内・首都圏・埼玉県北部を中心としているため、工業団地群と館林IC・高崎スマートIC(予定)・熊谷渋川連絡道路を結ぶ東毛広域幹線道路は、材料搬入・製品出荷など、特に首都圏へのアクセス向上に寄与する。</p> <p>・茂呂流通地域は土地区画整理事業として『東毛広域幹線道路』と一体で整備しており、『広瀬川』の改修事業により、洪水被害を防ぐことにより安全・安心な産業活動が確保できる。</p> <p><目標と広域的特定活動・拠点施設との関係></p> <p>・工場団地と高速道路ICや地域高規格道路を結ぶ本路線を整備することで、材料搬入・製品出荷などの広域的な物流が促進される。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況></p> <p>・多数の工業団地から県内・北関東・首都圏などへ多種多様な製品が出荷されている。 (東毛広域幹線道路沿線周辺にある大規模な工業団地17箇所、流通地域1箇所、工場・製作所2箇所)</p> <p><将来></p> <p>・東毛広域幹線道路・高崎スマートICが整備されることにより、県内・北関東・首都圏へのより一層の流通活動が期待されるとともに、信越・北陸地域への広域的物流も期待できる。</p>			
広域的特定活動との関係			
<p><拠点施設整備の蓋然性></p> <p>・茂呂流通地域内には、倉庫・運輸等、物流の拠点となる企業が配置されている。現在整備中の茂呂第二土地区画整理事業区域内の既設ショッピングモールに隣接して、近隣型ショッピングセンターが平成22年春に立地を予定している。さらに、全国展開している小売店などの流通施設が平成19年度に出店するなど、茂呂流通地域の整備が着々と進んでいる。</p> <p><拠点施設に設定した理由></p> <p>・群馬県東部には工業団地が多数存在し、群馬県全域の約50%の製品出荷額を担っている、県内有数の工業地域であり、高速ICや地域高規格道路へのアクセス道路が整備されれば、さらなる物流促進が多いに期待できる地域である。</p>			
重点地区(設定する場合に記述)			

広域的地域活性化基盤整備計画の整備方針と基本的な方針等との整合性

計画の整備方針		方針に合致する主要な事業	
整備方針1(高速ICへのアクセス向上) 群馬県南部の東西を連絡する「東毛広域幹線道路」を整備することにより、高速道路ICへのアクセス性が向上し、利便性の高い幹線道路ネットワークを構築する。		国道354号 高崎玉村バイパス・大泉邑楽バイパス、太田市内交差点改良太田(都)3. 2. 2東毛幹線(太田第二工区)、国道354号(高崎工区)、国道354号(館林工区)、太田(都)3. 2. 2東毛幹線(東別所工区)	
整備方針2(河川改修によるアクセス道路および拠点施設の機能確保) 広瀬川の堤防を補強することで破堤による浸水被害を防止し、製品生産・物流活動の安全・安心を確保する。		(一)広瀬川(伊勢崎市)	
整備方針3(東毛広域幹線道路へのアクセス向上) 工業団地等から「東毛広域幹線道路」へのアクセス道路を整備し、「東毛広域幹線道路」の利便性を向上させる。		(主)高崎・伊勢崎線(福島橋)、国道354号(東橋)、(一)新堀尾島線(古利根橋)、(主)伊勢崎深谷線(上武大橋)	
基本的な方針等との整合性(※1)			
	区分	整合性等の有無	左記の理由等
①	広域的地域活性化のための基盤整備に関する基本的な方針との適合の有無	有 ・ 無	基幹事業の選定にあたっては、拠点施設へのアクセス向上となるよう効果的・効率的な事業とした。
②	国土形成計画、社会資本整備重点計画、環境基本計画との調和の有無	有 ・ 無	
③	北海道総合開発計画、沖縄振興計画との調和の有無 (北海道及び沖縄のみ回答)	有 ・ 無	
④	その他の計画等との整合性の有無	有 ・ 無	はばたけ群馬・県土整備プラン
⑤	関係市町村への意見聴取の有無(※2)	有 ・ 無	高崎市、玉村町、伊勢崎市、太田市、大泉町、千代田町、邑楽町、館林市、前橋市
⑥	他の都道府県への意見聴取の有無(※2) (他の都道府県との境界にかかる計画の場合に回答)	有 ・ 無	
広域地方計画協議会での取扱い(※3)		有 ・ 無	
その他			

東毛広域幹線道路沿線地域(群馬県) 整備方針概要図

目標	群馬県の東西を連絡する「東毛広域幹線道路」を整備することにより、高速IC・熊谷渋川連絡道路へのアクセス向上による広域的物流の促進を図る。	代表的な指標	玉村東部工業団地から高崎スマートIC(予定)へのアクセス時間短縮率(%)	約20分	→	25%短縮(H23年度)
			太田西部工業団地から上武道路へのアクセス時間短縮率	約18分	→	17%短縮(H23年度)
			工業製品出荷額(億円)	57,978	→	59,717(H23年度) (3%アップ)



事後評価結果

事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・(国)354号高崎玉村バイパスのバイパス整備や(国)354号太田市内交差点改良の改良工事により、東毛広幹道の整備が進捗し、工業団地と高速道路 I C間のアクセス性が向上した。 ・(一)広瀬川の堤防を補強することで破堤による沿線地域の浸水被害を防止し、製品生産・物流活動の安全・安心を確保した。 ・(主)高崎伊勢崎線福島橋の橋梁補修により、工業団地から東毛広域幹線道路へのアクセス道路の安全性が向上した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① (玉村東部工業団地から高崎玉村スマートICへのアクセス時間短縮率)	最終目標値	約25%短縮	目標値と実績値に差が出た要因	・当初目標値は推定旅行速度を用い推定したが、現地実測値により算出した結果、短縮率が大きくなった。
		最終実績値	約35%短縮		
	指標② (太田西部工業団地から上武道路へのアクセス時間短縮率)	最終目標値	約17%短縮	目標値と実績値に差が出た要因	・当初目標値は推定旅行速度を用い推定したが、現地実測値により算出した結果、短縮率が大きくなった。
		最終実績値	約33%短縮		
	指標③ (関係市町(前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、千代田町、大泉町、邑楽町)の工業製品出荷額の増加率)	最終目標値	3%増	目標値と実績値に差が出た要因	・平成20年秋の「リーマンショック」に端を発する経済危機等により、工業製品出荷額は平成21年度に大きく落ち込んだ後、平成18年度の水準まで回復していない。
		最終実績値	2%減		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項(今後の方針等)					
<p>・本計画終了後も、埼玉県と連携を図りながら「群馬埼玉地域における広域的産業・物流活性化計画」(H23~H27)を実施し、高規格道路と産業拠点とのアクセス道路を整備して物流機能を高めることにより、東毛広域幹線道路沿線地域のさらなる産業活性化を図っていく。</p>					